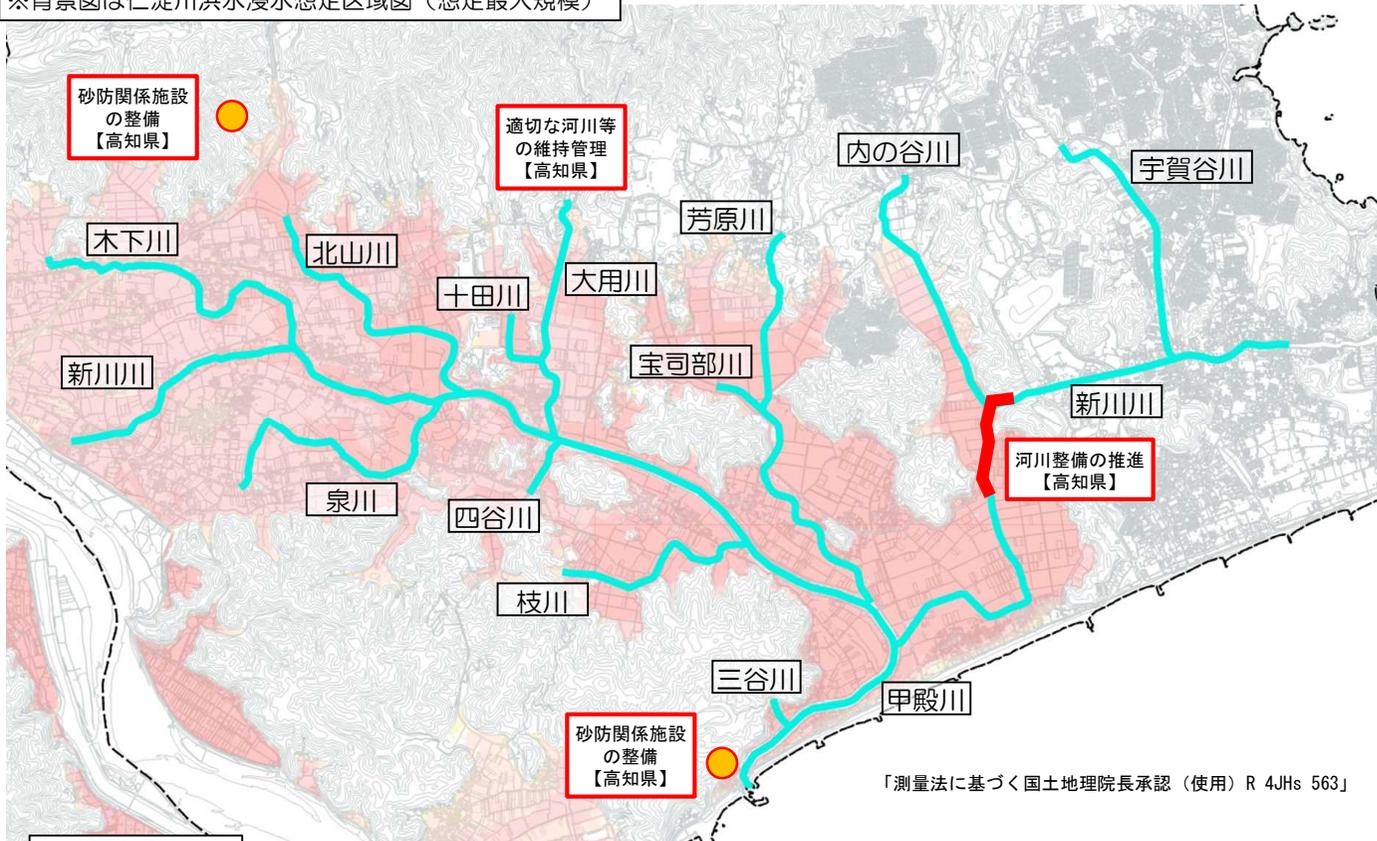


新川川水系については、平成10年9月豪雨規模の洪水が発生しても床上浸水を発生させないための対策を進めるとともに、ソフト対策に取り組み、浸水被害の軽減を図る。



※背景図は仁淀川洪水浸水想定区域図（想定最大規模）



■ 氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策

- ・河川整備の推進
- ・適切な河川等の維持管理
- ・内水排除
- ・森林の保全・整備
- ・農地の保全・整備
- ・砂防関係施設の整備
- ・流木対策の推進 等

■ 事業規模
河川対策 (約14億円)

■ 被害対象を減少させるための対策

- ・土地利用の検討 等

■ 被害の軽減、早期復旧・復興のための対策

- ・水位計・カメラの設置、水位情報及び土砂災害警戒情報等の提供
- ・避難の判断に必要な情報の提供
- ・洪水、高潮、津波、内水浸水想定区域、土砂災害警戒区域の指定・公表
- ・洪水、高潮、津波、内水、土砂災害ハザードマップの作成、公表、周知
- ・安全な避難のための取組・防災教育（要配慮者利用施設の避難確保計画作成の促進、防災教育・避難訓練の実施）
- ・発災時の応急措置及び発災後の早期復旧のための取組（防災拠点と緊急輸送ルートの確保、災害時の支援協定）
- ・下水道施設、排水機場の耐水化 等

「測量法に基づく国土地理院長承認（使用）R 4Jhs 563」

凡例
浸水した場合に想定される水深（ランク別）

20.0m以上
10.0m～20.0m
5.0m～10.0m
3.0m～5.0m
1.0m～3.0m
0.5m～1.0m
0.3m～0.5m
0.3m未満



※関係者で連携して、詳細な内容や新たな対策を検討する。

●新川川では、上下流・本支川の流域全体を俯瞰し、国、県、高知市、その他流域関係者が連携・協働し、以下の手順で「流域治水」を推進する。

【短期】災害の発生を未然に防ぐため、河川改修、適切な河川の維持管理、排水機場の整備、河川・海岸の地震・津波対策を行う。

【中長期】更なる治水安全度の向上を図るため、引き続き河川改修・河川の維持管理、海岸の地震・津波対策等のハード整備等を実施するとともに、整備済の施設については、出水時に、機能を十分に発揮できるように維持管理を行う。あわせて逃げ遅れゼロを目指し、ハザードマップによる危険箇所の周知、危機管理型水位計及び河川監視カメラの設置等、的確な避難行動につながるソフト対策の充実を図る。

■事業規模
河川対策（約 14億円）

区分	対策内容	実施主体	水系名	工程	
				短期	中長期
氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策	河川整備の推進	高知県	新川川	河川改修（新川川）	
	適切な河川等の維持管理	高知県、高知市	新川川	土砂・立木の浚渫・除草、河川巡視、モニタリング	
	内水排除	高知市	新川川	排水機場等の整備・維持管理・モニタリングによる適切な機能管理	
	森林の保全・整備	森林整備センター、高知県、高知市、流域関係者	新川川	森林整備、治山事業	
				森林の保全活動	
	農地の保全・整備	高知県、高知市	新川川	農地整備・多面的機能支払交付金	
	砂防関係施設の整備	高知県	新川川	砂防関係施設の整備	
流木対策の推進	高知県、流域関係者	新川川	流木対策の推進		
被害対象を減少させるための対策	土地利用の検討	高知県、高知市	新川川	土地利用の検討 等	
被害の軽減、早期復旧・復興のための対策	水位計・カメラの設置、水位情報及び土砂災害警戒情報等の提供	高知県	新川川	ICTを活用した洪水情報の提供整備（水位・河川監視）	
	避難の判断に必要な情報の提供	高知県	新川川	ICTを活用した避難情報の提供整備（防災アプリ）	
	洪水・高潮・津波・内水・浸水想定区域、土砂災害警戒区域の指定・公表	高知県、高知市	新川川	浸水想定図、土砂災害警戒区域の指定・公表	
	洪水・高潮・津波・内水・土砂災害ハザードマップの作成、公表、周知	高知市	新川川	ハザードマップの改良、周知	避難訓練の実施
	安全な避難のための取組・防災教育（要配慮者利用施設の避難確保計画作成の促進、防災教育・避難訓練の実施）	高知県、高知市、流域関係者	新川川	要配慮者利用施設の避難確保計画作成支援	
		高知市、流域関係者	新川川	防災学習及び避難訓練による意識啓発	
	発災時の応急措置及び発災後の早期復旧のための取組（防災拠点と緊急輸送ルートの確保、災害時の支援協定）	国、高知県	新川川	防災拠点と緊急輸送ルートの確保	
		高知県、高知市	新川川	災害時の支援協定に基づく対策の実施	
下水道施設、排水機場の耐水化	高知県、高知市	新川川	下水道施設、排水機場の耐水化		

気候変動を踏まえた更なる対策を推進